

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ブランドプロミス

憂いなき未来のために。全ての人々が健康であり続けることによる持続可能な社会の実現を目指す。

バイオシミラー

2029年度末目標

② 中長期の経営戦略

1. SMO事業の強化

基幹病院との提携拡大と人材教育徹底により、複雑化・高度化する臨床試験に対応。QMS有効性向上でグローバルスタンダード準拠の体制構築。CRO事業との連携でハイブリッド型総合臨床開発企業を目指す。

3. 先端医療事業の展開

センダイウイルスベクターを世界標準化。iPS細胞作製キット販売やライセンス活動を継続。自社開発品の臨床試験推進と海外先端医療製薬企業の日本での開発支援。化粧品等の製品開発で技術を身近に提供。

2. CRO事業の拡大

日本・オーストラリアの臨床試験実施施設で第I相試験等の早期臨床試験を支援。オーストラリアではSMO事業拡大と欧米・アジア地域の製薬企業からの受託拡大を推進。

4. 創薬事業の推進

バイオシミラー等の医薬品を国内外の製薬企業等と共同開発。厚生労働省の2029年度末シェア率目標達成に向けて、有効性の高い重要医薬品開発でニーズに対応。

③ 対処すべき課題

① 収益力の向上

- ・ SMO事業で開発ニーズの高い領域をターゲット。適切な受託単価設定と人的資源配置で利益向上。
- ・ CRO事業で海外・国内早期臨床試験受託と再生医療等製品支援を拡大。
- ・ 先端医療事業でiPS細胞キット販売やEC事業、ライセンス事業で収益拡大。

② 資金調達と投資

- ・ 人材確保と研究開発への継続的投資が必要。
- ・ 製薬企業との共同研究による開発資金確保、金融機関・資本市場での資金調達を検討。

③ 内部管理体制と人材確保

- ・ コーポレート・ガバナンスの充実で意思決定の透明性・迅速性向上。M&A後の経営統合と理念共有が重要。
- ・ CRC・SMA・CRA・DM等、各事業成長に適した人材採用と育成が課題。
- ・ 業務品質確保のため、プロセス統一と標準化で高レベルの品質を維持。

面接で使えるポイント

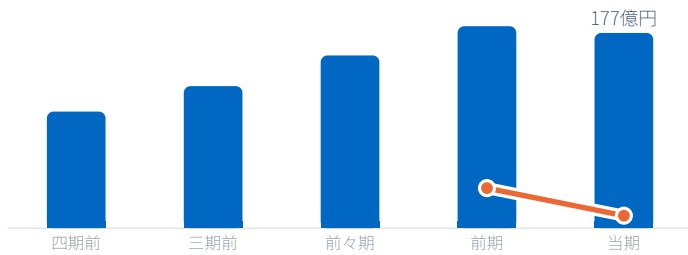
- ・ グローバルに拡大するバイオ医薬品市場で、センダイウイルスベクター等の独自基盤技術を活用した事業展開を進めている。
- ・ SMO・CRO・先端医療・創薬の4事業間のシナジーにより、ハイブリッド型総合臨床開発企業を目指している。
- ・ 2029年度末のバイオシミラーシェア率目標達成に向けて、医薬品開発に貢献する成長企業。

株式会社アイロムグループ

サービス業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 3月31日 …

EDINETコード E05352

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
177億円

営業利益率
6.4%

財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 33.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
486万円

平均年齢
40.0歳

平均勤続
9.0年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社アイロムグループ 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

